

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	PA		授業形態 / 必選	実習	必修
	学則別表上表記	分野別実習Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ■声優芸能科 ■音楽芸能スタッフ科				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ■ 非該当 □				
担当講師 実務経歴	ライブホールのサウンドエンジニアとして20年以上従事の後、現在はフリーランスとしてライブ、フェスや講演会など年間100本以上のPA業務に携わる。				
授業概要					
音響知識を身につけ実際にPA業務を学ぶ。 エフェクトの種類や掛け方を学び実践で最終的にカラオケに対して音響作業をしてみても実際に合わせてPA作業を体験してみる。					
到達目標					
PA卓の仕組みを理解し、ライブホールにおいてPAミックスができるようになる。					
授業計画・内容					
【前期】 1～4回目	音響の仕事の基礎知識				
【前期】 5～8回目	音響の仕組み・構造の把握				
【前期】 9～12回目	エフェクトの種類と効果				
【前期】 13～16回目	スピーカーの種類とPA卓の種類による音と操作の違い				
【前期】 17～19回目	実践でVcや楽器のMIX作業 ■前期試験:筆記試験及び実技試験の実施				
【後期】 20～23回目	音響の仕事の基礎知識				
【後期】 24～27回目	音響の仕組み・構造の把握				
【後期】 28～31回目	エフェクトの種類と効果				
【後期】 32～35回目	スピーカーの種類とPA卓の種類による音と操作の違い				
【後期】 36～37回目	実践でVcや楽器のMIX作業 ■後期試験:筆記試験及び実技試験の実施				
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点/意欲/技術力」の3項目の到達度を総合的に評価する。				
学生へのメッセージ	演者が出す音が、音響の作業により実際にどういった効果をもたらしているのかを体感してみてください。				
使用教科書	適時プリント資料配布。				

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	照明		授業形態 / 必選	実習	必修
	学則別表上表記	分野別実習Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ■声優芸能科 ■音楽芸能スタッフ科				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ■ 非該当 □				
担当講師 実務経歴	福岡で照明家として活動中。近年では、Tリーグ開幕シリーズ/ファイナルシリーズの照明デザインオペレート、福岡発アイドルグループ「LinQ」の専属照明オペレーターや、福岡よしもと新劇場における照明プランニング及び照明オペレート/音響オペレート/舞台監督を担当。上記の経験を活かし色彩デザインに関する講義を行う。				
授業概要					
<p>①照明に関する基本用語、舞台構造及び会場設備、光や色の特性などに関する基礎知識を学びます。</p> <p>②ユニット、バトンや灯体などの各機材の役割や正しい取り扱い方法及び安全に関する知識を身につけます。</p>					
到達目標					
<p>・照明における専門用語を理解し、演者側の目線でも適切なオーダーを出せるようになる。</p> <p>・コンサートやイベントにおいて照明スタッフとしてどのポジションでも対応できる全般的な知識と技術を身に着ける。</p>					
授業計画・内容					
【前期】 1～4回目	ホールや劇場の構造や照明のシステム全般について				
【前期】 5～8回目	ケーブルの8の字巻、灯体の吊り込みなど基本的な仕込み作業				
【前期】 9～12回目	照明シーンの作り方(打ち込み)編				
【前期】 13～16回目	照明オペレーション(サンプルアーティストを起用した実践)				
【前期】 17～19回目	■前期試験:前期の授業範囲内より抜粋した筆記試験を実施。前期授業の理解度を問う				
【後期】 20～23回目	ホールや劇場の構造や照明のシステム全般について				
【後期】 24～27回目	ケーブルの8の字巻、灯体の吊り込みなど基本的な仕込み作業				
【後期】 28～31回目	照明シーンの作り方(打ち込み)編				
【後期】 32～35回目	照明オペレーション(サンプルアーティストを起用した実践)				
【後期】 36～37回目	■前期試験:前期の授業範囲内より抜粋した筆記試験を実施。前期授業の理解度を問う				
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。学期末に実施する試験により「平常点 / 意欲 / 技術力」の3項目の到達度を総合的に評価する。				
学生へのメッセージ	照明の基礎全般を理解することで、必ず自身の専攻分野でも役に立つと思います。				
使用教科書	特になし。				

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	楽器知識		授業形態 / 必選	実習	必修
	学則別表上表記	分野別実習Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ■声優芸能科 ■音楽芸能スタッフ科				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	自身のバンドで上京、翌年にはビクターエンタテインメントよりメジャーデビューを果たす。シングル・マキシシングル・アルバム等、計7枚を発表。テレビ・ラジオを始め、各種イベント等多数出演。また、近年では福岡ナンバーショット、中洲ジャズやサツマニアンヘスなどにも舞台監督や現地楽器スタッフとして従事。 上記の経験を活かし楽器知識についての講義を行う。				
授業概要					
ドラムセット、ギター、キーボード等の構造と仕組み、セッティング、弦交換、ケーブル作成、ドラムヘッドの張替え、簡単なエフェクター製作、メンテナンスの実技指導を行う					
到達目標					
幅広い楽器知識と実習経験を他学科でも活かせる事					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	ドラムセットの構造、セッティング、各種シンバル音色の違い、ヘッド張替え、メンテナンス
【前期】 5～8回目	ギターの構造など、弦交換、チューニング、簡単な修理やメンテ、パッチケーブル作成
【前期】 9～12回目	エフェクターに使われる部品説明～製作
【前期】 13～16回目	簡単なエフェクター製作
【前期】 17～19回目	■前期試験：筆記試験及び実技試験の実施
【後期】 20～23回目	ドラムセットの構造、セッティング、各種シンバル音色の違い、ヘッド張替え、メンテナンス
【後期】 24～27回目	ギターの構造など、弦交換、チューニング、簡単な修理やメンテ、パッチケーブル作成
【後期】 28～31回目	エフェクターに使われる部品説明～製作
【後期】 32～35回目	簡単なエフェクター製作
【後期】 36～37回目	■後期試験：筆記試験及び実技試験の実施
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「ドラムヘッド交換・チューニング等/ギター弦交換・チューニング等/半田付け技術の習得」の3項目の到達度を評価する。
学生へのメッセージ	多種多様な楽器の知識を理解してプラスになれるように学んでください。
備考	適宜テキスト配布

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	動画編集		授業形態 / 必選	実習	必修
	学則別表上表記	分野別実習Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ■声優芸能科 ■音楽芸能スタッフ科				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	絵画教室講師、3DCG映像制作会社勤務を経て、現在フリーランスのイラストレーターとして活動中。 大手食品メーカー店内イラストや冊子挿絵、様々なパンフレットデザイン等、幅広く活動。作家として、ライブペイントや個展・グループ展も開催。その他、デザイン系専門学校講師兼任。				
授業概要	Adobe Premiere Pro・After Effectsを使用し、制作を通して色々な角度から動画について学んでいく。				
到達目標	Macにおける該当アプリ操作とレイヤーを理解し、動画編集についての造形を深め、作品を作り上げる。				
授業計画・内容					
【前期】 1～4回目	「Premiere Pro 基本操作」シーケンスの設定・カット・テキスト・エフェクト等。				
【前期】 5～8回目	「CM再現」Premiere Proを応用し、フォントや画角などを再現する。				
【前期】 9～12回目	「グリーンバック撮影」スマートフォンで撮影したものに背景合成を行う。				
【前期】 13～16回目	「モーショングラフィックス」After Effectsの基本操作と基本的な動きを制作。				
【前期】 17～19回目	「ストップモーション」フレームレートを理解し、絵コンテから制作。 ■前期試験:前期の授業内容から抜粋し実技試験を実施。内容を理解しているかを問う。				
【後期】 20～23回目	「Premiere Pro 基本操作」シーケンスの設定・カット・テキスト・エフェクト等。				
【後期】 24～27回目	「CM再現」Premiere Proを応用し、フォントや画角などを再現する。				
【後期】 28～31回目	「グリーンバック撮影」スマートフォンで撮影したものに背景合成を行う。				
【後期】 32～35回目	「モーショングラフィックス」After Effectsの基本操作と基本的な動きを制作。				
【後期】 36～37回目	「ストップモーション」フレームレートを理解し、絵コンテから制作。 ■後期試験:後期の授業内容から抜粋し実技試験を実施。内容を理解しているかを問う。				
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 / 意欲 / 技術力」の3項目の到達度を総合的に評価する。				
学生へのメッセージ	音楽・芸能業界はYou Tubeなどの影響を大いに受けており今後、動画配信は必須のスキルとなってきます。時代に適応してこれらの技術を身につけましょう。				
備考	特になし。				

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	レコーディング		授業形態 / 必選	実習	必修
	学則別表上表記	分野別実習Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ■声優芸能科 ■音楽芸能スタッフ科				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	福岡のレコーディングスタジオにおいて約20年エンジニアとして在籍の後、現在はフリーランスとしてスタジオレコーディングやライブレコーディングを担当。また、PAオペレート業務、楽器や音響機器のメンテナンスなども行う。□				
授業概要					
<p>①レコーディングスタジオの機材や楽器についての理解を深める。 ②録音作業を通じてレコーディングの全体像を理解し、作品を完成させる技術を習得する。</p>					
到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> レコーディングスタジオ内にある機材や備品の名称、役割を理解し適切に使用出来る。 同じ役割であれば初見の機材でも使用出来る応用力を身に付ける。 実践的な練習をすることで、時間のロスのない円滑なレコーディング作業を進められるようになる。 レコーディングからミックスまでの流れを学び、完成品のイメージを持った計画性のあるレコーディングを進められる。 					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	スタジオの電源の入れ方から、ケーブルの正しい巻き方(8の字巻き)など基本的な作業を理解する
【前期】 5～8回目	マイクやコンソール、スピーカーなどスタジオに常設されている機器の役割を理解する マイクのマイクスタンドへの取り付け方やケーブルの接続方法、CueBoxなど録音前の準備について理解する
【前期】 9～12回目	バンドレコーディング実習(録音編)
【前期】 13～16回目	Pro Tools実習(バンドレコーディング素材の編集)
【前期】 17～19回目	■前期試験:筆記試験及び実技試験の実施
【後期】 20～23回目	スタジオの電源の入れ方から、ケーブルの正しい巻き方(8の字巻き)など基本的な作業を理解する
【後期】 24～27回目	マイクやコンソール、スピーカーなどスタジオに常設されている機器の役割を理解する マイクのマイクスタンドへの取り付け方やケーブルの接続方法、CueBoxなど録音前の準備について理解する
【後期】 28～31回目	バンドレコーディング実習(録音編)
【後期】 32～35回目	Pro Tools実習(バンドレコーディング素材の編集)
【後期】 36～37回目	■後期試験:筆記試験及び実技試験の実施
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点/意欲/技術力」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	基本的なことから実践的なことまで、実際のスタジオワークを想定した内容を中心に学んでいきます。 わからないところはわかるまで解説しますので安心して下さい。
備考	項目毎にテキストプリントを配布。

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	ボーカロイド		授業形態 / 必選	実習	必修
	学則別表上表記	分野別実習Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ■声優芸能科 ■音楽芸能スタッフ科				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □
担当講師 実務経歴	音楽学校卒業後、2015年よりフリーで作詞作曲をすると同時に、DAW講師として活動。 アイドルグループへの楽曲提供及び編曲を多数行うとともに、レコーディングディレクターとしても活躍。現在に至る。				
授業概要	<p>ボーカロイドソフトの基本的な操作方法から学んでいきましょう。 又、歌い回しを工夫したり、ダイナミクスをつけることで、奥深い作品を作り上げることができるようになります。</p>				
到達目標	<p>ボーカロイドソフトを使用して人間味のある歌わせ方ができるようになること。</p>				

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	Piapro Studioでできること。基本的な操作方法。こちらで用意したカラオケ音源に歌メロを打ち込み実際に歌わせる。
【前期】 5～8回目	歌を切るタイミング、歌い回しの工夫。
【前期】 9～12回目	目更にダイナミクスをつけて、調教力を高める。
【前期】 13～16回目	リズムをとりながら歩く・ポーズなどのパフォーマンスを、ムービーとしての流れを作る。
【前期】 17～19回目	作成したオリジナルメロディのVOCALOIDの調教。 ■前期試験:筆記試験及び実技試験の実施
【後期】 20～23回目	Piapro Studioでできること。基本的な操作方法。こちらで用意したカラオケ音源に歌メロを打ち込み実際に歌わせる。
【後期】 24～27回目	歌を切るタイミング、歌い回しの工夫。
【後期】 28～31回目	目更にダイナミクスをつけて、調教力を高める。
【後期】 32～35回目	リズムをとりながら歩く・ポーズなどのパフォーマンスを、ムービーとしての流れを作る。
【後期】 36～37回目	作成したオリジナルメロディのVOCALOIDの調教。 ■後期試験:筆記試験及び実技試験の実施
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 / 意欲 / 技術力」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	楽しみながら、人から見られて、まねできない個性的なパフォーマンスを身につけることで、自分に自信が持てるようになります。
備考	なし

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	モデル		授業形態 / 必選	実習	必修
	学則別表上表記	分野別実習Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ■声優芸能科 ■音楽芸能スタッフ科				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ■ 非該当 □				
担当講師 実務経歴	(株)Applause代表。 U.S.A広報プログラムにより、ニューヨークにおいて'92年プロデュース研修。東京や福岡でコンサート、演劇やファッションショーなどの企画、制作やプロデュースを数多く手掛ける。大手プロダクションにおいて、福岡のダンスヴォーカルユニット、モデルや俳優の育成からマネジメントまで幅広く活動中。				
授業概要	東京コレクションの演出を担当。モデルから俳優・タレント・ミュージシャンそれぞれの個性を生かした見せ方を、基礎のウォーキング・ポージングから始まり、すべてのパフォーマンスに対応できるレッスンを楽しみながらやっていきます。				
到達目標	写真・映像・ステージで自分をアピールすることが出来るようになる。				

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	普段の歩き、座りなどの動作を繰り返す事で、自分の癖や個性を確認していく。
【前期】 5～8回目	他人から見られる、客観的な自分を解説・実習。
【前期】 9～12回目	一人一人の個性を生かしながら、動く(立ち姿・歩く・座る・ポーズ)などを実習。
【前期】 13～16回目	リズムをとりながら歩く・ポーズなどのパフォーマンスを、ムービーとしての流れを作る。
【前期】 17～19回目	■前期試験:筆記試験及び実技試験の実施
【後期】 20～23回目	普段の歩き、座りなどの動作を繰り返す事で、自分の癖や個性を確認していく。
【後期】 24～27回目	他人から見られる、客観的な自分を解説・実習。
【後期】 28～31回目	一人一人の個性を生かしながら、動く(立ち姿・歩く・座る・ポーズ)などを実習。
【後期】 32～35回目	リズムをとりながら歩く・ポーズなどのパフォーマンスを、ムービーとしての流れを作る。
【後期】 36～37回目	■後期試験:筆記試験及び実技試験の実施
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 / 意欲 / 技術力」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	楽しみながら、人から見られて、まねできない個性的なパフォーマンスを身につけることで、自分に自信が持てるようになります。
備考	なし

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	ボディメイク		授業形態 / 必選	実習	必修
	学則別表上表記	分野別実習Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ■声優芸能科 ■音楽芸能スタッフ科				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 <input type="checkbox"/>	非該当 <input checked="" type="checkbox"/>
担当講師 実務経歴					
授業概要					
<p>エンターテイナーとトレーニングの関連性、必要性を学習します。 体を鍛えることで、表現力・パフォーマンス力を向上させます。 また、ボディメイクによって身体と心、人生そのものが素敵に変わっていくことを伝えていきます。</p>					
到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・パフォーマンスする上で必要な筋力、持久力、心肺機能の向上を目指します。 ・ケガをしない為のストレッチ、体のケアの仕方を習得します。 ・自信をつける為のシルエット作り、トレーニング方法を身に付けます。 ・健康的で尚且つ、理想の身体を手に入れる為のボディメイク作りを習得します。 ・トレーニング、食事管理、質のいい睡眠、姿勢に重点を置き、最終的にはこれらを自分でできるようになるボディメイクの自立を目指します。 					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	エンターテイナーとボディメイクの関連性を理解し、必要性を学ぶ。
【前期】 5～8回目	根本的な体の使い方、正しい姿勢や歩き方、座り方を学び正しい筋肉の使い方を知る。
【前期】 9～12回目	ウォーミングアップ、クールダウンの必要性、運動前後のストレッチの種類を学ぶ。
【前期】 13～16回目	有酸素運動、無酸素運動のそれぞれの効果の違いを理解する。
【前期】 17～19回目	ボディメイクにおいて必要不可欠である食事や睡眠の大切さを学ぶ。 ■前期試験: 筆記試験にて、「ボディメイクの重要性 ・体の構造 ・ストレッチの重要性」の理解度を確認する。
【後期】 20～23回目	胸、肩、背中、腕、トレーニング習得。
【後期】 24～27回目	お腹、足、臀部、インナーマッスルトレーニング習得。
【後期】 28～31回目	上半身トレーニングメニュー作成の習得。
【後期】 32～35回目	下半身トレーニングメニュー作成の習得。
【後期】 36～37回目	コンディショニングの重要性、セルフケアの習得。 ■後期試験: 筆記・実技試験にて、「有酸素、無酸素運動の効果について・実技トレーニング」の理解度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「ボディメイクの重要性/体の構造/ストレッチの重要性/有酸素、無酸素運動の効果/トレーニングの知識」の5項目の理解度・到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	ダイエットしたい、カッコいい身体になりたい、姿勢をよくしたい、腹筋を割りたい。誰もが一生課題とするであろう身体の事。これからパフォーマーとして生きていきたい。人生を素敵に過ごしたい。そんな夢に近づけてくれるのがこのボディメイク。ボディメイクをすればパフォーマンス力は自ずと上がり疲れにくく、健康的な身体を手に入れ尚且つ自分に自信を持てるようになる事で「オーラのある人」へと変わっていきます。この授業を糧にキラキラ輝く未来を掴みに行きましょう。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	キーボード		授業形態 / 必選	実習	必修
	学則別表上表記	分野別実習Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ■声優芸能科 ■音楽芸能スタッフ科				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □
担当講師 実務経歴	The 8th Music Revolution Hi-Gain大会でグランプリを獲得。・V3新人オーディション20thファイナリストに選出)そのポテンシャルの高さを披露。2012年には、Fukuoka Music Factoryの第6弾ファイナルアーティストに選出さる。 2016佐賀年気球世界選手権応援ソングに「Life」が採用される。2020年配信弾き語りワンマンライブ「Voyage」を開催。				
授業概要					
ドレミの位置や音階など、ピアノに触ったことがなくても基礎の基礎から学んでいきます。コード理論や作曲理論も交えて音楽への理解を深めます。					
到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・キーボードを通して音感やコード感を身につけ、各自の音楽活動への理解をより深めていきます。 ・簡単なコードを引くことができるようになる。 ・音階やスケールなどを理解し、各自の音楽活動に生かすことができるようになる。 					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	【はじめに】ドレミの位置や白鍵・黒鍵の違い、ダイアトニックスケールの定義などを理解しながらキーボードに触れます。
【前期】 5～8回目	【コード理論】コードの成り立ちや仕組みを理解し、実際に演奏します。
【前期】 9～12回目	【作曲理論】作曲におけるコードの扱い方などを、スタンダードの曲を分析しながら理解し、実際に演奏します。
【前期】 13～16回目	【応用】コード名を見てスタンダードの曲を演奏します。上級者は弾き語りにも挑戦します。
【前期】 17～19回目	【応用②】コード名を見て演奏し、メロディを考えてみます。 ■前期試験:楽器の演奏により「演奏力/コードの理解」の到達度を確認する。
【後期】 20～23回目	【はじめに】ドレミの位置や白鍵・黒鍵の違い、ダイアトニックスケールの定義などを理解しながらキーボードに触れます。
【後期】 24～27回目	【コード理論】コードの成り立ちや仕組みを理解し、実際に演奏します。
【後期】 28～31回目	【作曲理論】作曲におけるコードの扱い方などを、スタンダードの曲を分析しながら理解し、実際に演奏します。
【後期】 32～35回目	【応用】コード名を見てスタンダードの曲を演奏します。上級者は弾き語りにも挑戦します。
【後期】 36～37回目	【応用②】コード名を見て演奏し、メロディを考えてみます。 ■後期試験:楽器の演奏により「演奏力/コードの理解」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「演奏力/コードの理解」の2項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	ピアノは、全ての楽器の音域をカバーすることができる万能な楽器です。また、音の高低が一目でわかる楽器でもあります。どの科の生徒でも、キーボードに触れて音階やコードを理解することで自身の活動をより豊かなものにしてくれます。キーボードに触れたことがない生徒、ある程度演奏ができる生徒など、それぞれの上達度に合わせて課題や目標を設定し到達していきます。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	ラップ		授業形態 / 必選	実習	必修
	学則別表上表記	分野別実習Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ■声優芸能科 ■音楽芸能スタッフ科				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目		該当 <input type="checkbox"/>	非該当 <input checked="" type="checkbox"/>	
担当講師 実務経歴					
授業概要					
HIP HOPの歴史を通してラップを知り、興味を持ち、ラップが出来るようになって、みんなとラップで楽しめるようになります。					
到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・リズム感を鍛える。 ・個性を育てる。 ・ノリで参加する音楽を体感する。 ・技術的にラップが出来るようになった上で、個性を出して楽しんでラップが出来るようになる。 ・歌詞を書いてラップで自分を表現出来るようになる。 					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	【課題曲①】音楽ジャンルであるHIP HOPを通して、歴史やカルチャーの側面もふまえてラップの誕生を学ぶ。ラップの仕組みを学んで、ライミングを理解する。4小節→8小節→16小節と徐々に小節をのばしていきながらラップを実際にやってみる。
【前期】 5～8回目	【課題曲②】規則性がある正統派の楽曲を1曲を通してラップしてみる。歌詞の中で韻を踏んでいる箇所を理解し、そこにアクセントをおいてライミングが伝わるラップを習得する。
【前期】 9～12回目	【課題曲③】1曲の中で複数人でラップをしていくマイクリレーを学ぶ。人のラップの後に続けてラップする醍醐味を実感する。その中で自分の色を出して、ラップはオリジナルが大事であることを学ぶ。
【前期】 13～16回目	【課題曲④】ラップ制作。課題のトラックを決めて、そのトラックに合わせたラップの歌詞を自分で書いてみる。バースが仕上がれば、サビの制作。1曲作り上げる。みんなで披露しあう。
【前期】 17～19回目	【課題曲⑤】3人1組で難しい楽曲に挑戦。聴覚に対してのラップだけではなく、視角でも魅了できるよう立ち振る舞いや見せ方、ラッパーとしてのアティチュード学ぶ。 ■前期試験:課題曲の歌唱により「ビート感 / リズム感 / アクセント/アティチュード/バイブス」の到達度を確認する。
【後期】 20～23回目	【課題曲①】音楽ジャンルであるHIP HOPを通して、歴史やカルチャーの側面もふまえてラップの誕生を学ぶ。ラップの仕組みを学んで、ライミングを理解する。4小節→8小節→16小節と徐々に小節をのばしていきながらラップを実際にやってみる。
【後期】 24～27回目	【課題曲②】規則性がある正統派の楽曲を1曲を通してラップしてみる。歌詞の中で韻を踏んでいる箇所を理解し、そこにアクセントをおいてライミングが伝わるラップを習得する。
【後期】 28～31回目	【課題曲③】1曲の中で複数人でラップをしていくマイクリレーを学ぶ。人のラップの後に続けてラップする醍醐味を実感する。その中で自分の色を出して、ラップはオリジナルが大事であることを学ぶ。
【後期】 32～35回目	【課題曲④】ラップ制作。課題のトラックを決めて、そのトラックに合わせたラップの歌詞を自分で書いてみる。バースが仕上がれば、サビの制作。1曲作り上げる。みんなで披露しあう。
【後期】 36～37回目	【課題曲⑤】3人1組で難しい楽曲に挑戦。聴覚に対してのラップだけではなく、視角でも魅了できるよう立ち振る舞いや見せ方、ラッパーとしてのアティチュードを学ぶ。 ■後期試験:課題曲の歌唱により「ビート感 / リズム感 / アクセント/アティチュード/バイブス」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「ビート感 / リズム感 / アクセント/アティチュード/バイブス」の5項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	ラップは近年、日本でも急速に広がりみせる急成長中の音楽です。ひと昔前までは限られた少数派のコミュニティで共有される事がほとんどでしたが、現在ではテレビのCMで使用されたり、アイドルだってラップをします。とはいえまだまだ少数派なので、ラップが出来れば目立ちます。そして何より個性が一番大事な鍵を握る表現方法なので、上手か下手か、正解か不正解かは全て自分の中にあります。韻を踏むというルールの中で歌詞を書いて自分を表現するので、頭を使う知的な音楽なのです。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	ドラム		授業形態 / 必選	実習	必修
	学則別表上表記	分野別実習Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ■声優芸能科 ■音楽芸能スタッフ科				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目		該当 ■	非該当 □	
担当講師 実務経歴	・私立恵比寿中学、戸渡 陽太、FREAK、Big horns bee等、メジャーアーティストのコンサート時のバックアップミュージシャン ・私立恵比寿中学「アルバム/MUSIC」の楽曲「踊るロクデナシ」等、レコーディング時のバックアップミュージシャン 上記の経歴を活かし、職業として求められる「演奏技術、音楽理論等」の指導を行う。				
授業概要					
・初級から上級まで、様々なビートを体験しながら演奏のレベルアップを目標にする。 ・スティックコントロールの向上を目標に、基礎トレーニングを試みる。 ・4分音符、8分音符を理解し、8ビートから16ビートまで演奏できるようにする。 ・ドラムに必要なフィルインを知り、ビートの中に組み込んで演奏できるようにする。					
到達目標					
・リズム感を養う。 ・拍や小節の概念を知る。 ・ナチュラルサイクル(4小節、8小節)を身につける。 ・プレイの向上や、楽曲のコピーやカバー、アンサンブルなどで演奏する事ができる。 ・リズムに関する知識や、他活動において有利な情報として得る事ができる。					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	【ステップ1】スティックの握り方、セッティングの仕方、各パーツの名称を知る。【ステップ2】スネアを使ってシングルストロークで叩いてみる。【ステップ3】キックとハイハットを歩くように交互に踏んでみる。【ステップ4】簡単な8ビートに触れてみる。
【前期】 5～8回目	【ステップ5】4分音符と8分音符を理解し、8ビートを進める。【ステップ6】キックのパターンを知り、いくつかのパターンにトライしてみる。【ステップ6】4分と8分のウラを知る。【ステップ7】ウラを使ったバスドラムパターンで8ビートを叩いてみる。
【前期】 9～12回目	【ステップ8】16分音符を知る。【ステップ9】ハイハットを使って16ビートを叩いてみる。【ステップ10】16分音符が入ったフィルインを叩いてみる。
【前期】 13～16回目	【ステップ11】スネアを使って4分、8分、16分をシングルストロークでチェンジアップしてみる。【ステップ12】ステップ11にキックとハイハットを入れて演奏してみる。【ステップ13】16分のウラを知る。
【前期】 17～19回目	【ステップ14】16分ウラのキックを入れて16ビートを演奏してみる。【ステップ15】16ビートでフィルインを入れて演奏してみる。 ■前期試験:課題曲の演奏により「リズム感/指定ビート/指定フィルイン/スティックコントロール」の到達度を確認する。
【後期】 20～23回目	【ステップ1】スティックの握り方、セッティングの仕方、各パーツの名称を知る。【ステップ2】スネアを使ってシングルストロークで叩いてみる。【ステップ3】キックとハイハットを歩くように交互に踏んでみる。【ステップ4】簡単な8ビートに触れてみる。
【後期】 24～27回目	【ステップ5】4分音符と8分音符を理解し、8ビートを進める。【ステップ6】キックのパターンを知り、いくつかのパターンにトライしてみる。【ステップ6】4分と8分のウラを知る。【ステップ7】ウラを使ったバスドラムパターンで8ビートを叩いてみる。
【後期】 28～31回目	【ステップ8】16分音符を知る。【ステップ9】ハイハットを使って16ビートを叩いてみる。【ステップ10】16分音符が入ったフィルインを叩いてみる。
【後期】 32～35回目	【ステップ11】スネアを使って4分、8分、16分をシングルストロークでチェンジアップしてみる。【ステップ12】ステップ11にキックとハイハットを入れて演奏してみる。【ステップ13】16分のウラを知る。
【後期】 36～37回目	【ステップ14】16分ウラのキックを入れて16ビートを演奏してみる。【ステップ15】16ビートでフィルインを入れて演奏してみる。 ■後期試験:課題曲の演奏により「リズム感/指定ビート/指定フィルイン/スティックコントロール」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「リズム感/指定ビート/指定フィルイン/スティックコントロール」の4項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	初心者でも経験者でも、色んなリズムを知る事で音楽をやる上でとても有利になります。たくさんリズムパターンを知ると、演奏知識や音楽制作、そしてリズム感にも役立ちます。楽しく演奏して、音楽に必要なリズムを体験していきましょう。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	メイク		授業形態 / 必選	実習	必修
	学則別表上表記	分野別実習Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ■声優芸能科 ■音楽芸能スタッフ科				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	・ブライダル、アーティスト撮影、企業のCM撮影のヘアメイク等のメイクアップアーティスト。1998年より活動開始。 上記の経歴を活かし、職業として求められる「基本的なヘアメイクの技術と知識」の指導を行う。				
授業概要					
メイクの基本から学び、イメージに合わせたメイク、撮影やステージメイク、ヘアアレンジ等、トータルで自分の個性や魅力を表現できるようになる為の技術や知識を習得する。					
到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・スキンケアの知識やメイクの必要性を理解する。 ・メイクやヘアの基本的技術や応用力を習得する。 ・色使いやバランス感覚、センスを身に付ける。 ・テーマやファッションに合わせ、自分のイメージするメイクを自分の技術で美しく仕上げられるようになる。 					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	スキンケア知識を身に付け、実践。美しいベースメイクを仕上げる。
【前期】 5～8回目	アイブロウ、アイシャドウのグラデーション、チーク、リップ等、ポイントメイクを美しく仕上げる方法を学び、実践。
【前期】 9～12回目	イメージメイク、撮影用メイク、ステージメイクを学び、実践。
【前期】 13～16回目	ヘアアレンジの基本や応用。
【前期】 17～19回目	トータルで自分のイメージするメイクとヘアを仕上げる。 ■前期試験:メイクの実技や筆記試験により「スキンケア知識 / メイク道具や順序への理解 / 基本的メイク技術力 / 応用力 / 色使いやバランス感覚」の到達度を確認する。
【後期】 20～23回目	スキンケア知識を身に付け、実践。美しいベースメイクを仕上げる。
【後期】 24～27回目	アイブロウ、アイシャドウのグラデーション、チーク、リップ等、ポイントメイクを美しく仕上げる方法を学び、実践。
【後期】 28～31回目	イメージメイク、撮影用メイク、ステージメイクを学び、実践。
【後期】 32～35回目	ヘアアレンジの基本や応用。
【後期】 36～37回目	トータルで自分のイメージするメイクとヘアを仕上げる。 ■後期試験:メイクの実技や筆記試験により「スキンケア知識 / メイク道具や順序への理解 / 基本的メイク技術力 / 応用力 / 色使いやバランス感覚」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「スキンケア知識 / メイク道具や順序への理解 / 基本的メイク技術力 / 応用力 / 色使いやバランス感覚」の5項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	メイクをすることによって、自分を表現できるだけでなく、自分の理想に近づくことができ、内面からも輝くことができます。また、この授業では流行を取り入れながら、様々な技術や感覚を身に付け、自分の好みの音楽、ファッションに合わせたメイクやヘアを自分でできるようになるようレクチャーしていきますので、トータルで自分をプロデュースしていく力がつきます。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	パーカッション		授業形態 / 必選	実習	必修
	学則別表上表記	分野別実習Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ■声優芸能科 ■音楽芸能スタッフ科				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □
担当講師 実務経歴	・鈴木茂、中西圭三、有山じゅんじ、木村光輝、田口悌二、浅野孝巳(ゴダイゴ)、森本太郎(ザ・タイガース)、ワガン・ンジャイローズ、奥本亮、園田亮等、メジャーアーティストのコンサート時のバックアップミュージシャン 上記の経歴を活かし、職業として求められる「音楽理論、楽器の技術や知識等」の指導を行う。				
授業概要					
様々なパーカッションに触れ、国のルーツやリズムパターン、奏法や知識を習得します。					
到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・世界を知るキッカケとなり、そのジャンルとリズムを知る。 ・たくさんのパーカッションに触れ、リズム感や楽曲へのスパイスを知る。 ・様々な楽器の奏法やリズムを知る事で他パートと合わせて演奏する事ができる。 ・楽曲に対して、アレンジや要素としてパーカッションをピックアップできるようになる。 					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	【小物系】シェイカー、タンバリン、鈴、クラベ等の奏法を学ぶ。 【コンガ】キューバ発祥の楽器。ルーツを知り、奏法を学ぶ。 【ボンゴ】アフリカ系キューバ発祥の楽器。ルーツを知り、コンガとは少し違う奏法を学ぶ。
【前期】 5～8回目	【カホン】ペルー発祥の楽器。ルーツを知り、ドラムに近い演奏が出来る。 【ジャンベ】西アフリカ発祥の楽器。ルーツを知り、リズムパターンを学ぶ。
【前期】 9～12回目	【パンディロ】ブラジル発祥の楽器。タンバリンとは異なり、両手それぞれ役割のある奏法を学ぶ。
【前期】 13～16回目	【アンサンブル1】コンガ、ボンゴ、ジャンベを使い、それぞれ役割のあるリズムパターンを演奏しセッションを楽しむ。【アンサンブル2】カホン、パンディロを使い、それぞれ役割のあるリズムパターンでセッションを楽しむ。【前期テスト】
【前期】 17～19回目	【アンサンブル3】それぞれチョイスした楽器を使ってリズムアンサンブルを考え演奏してみる。 【前期まとめ】各楽器の奏法を復習し、小物パーカッションも混ぜて演奏してみる。 ■前期試験: 楽器の演奏により「指定楽器の奏法 / 小物を使った演奏 / アンサンブル能力」の到達度を確認する。
【後期】 20～23回目	【小物系】シェイカー、タンバリン、鈴、クラベ等の奏法を学ぶ。 【コンガ】キューバ発祥の楽器。ルーツを知り、奏法を学ぶ。 【ボンゴ】アフリカ系キューバ発祥の楽器。ルーツを知り、コンガとは少し違う奏法を学ぶ。
【後期】 24～27回目	【カホン】ペルー発祥の楽器。ルーツを知り、ドラムに近い演奏が出来る。 【ジャンベ】西アフリカ発祥の楽器。ルーツを知り、リズムパターンを学ぶ。
【後期】 28～31回目	【パンディロ】ブラジル発祥の楽器。タンバリンとは異なり、両手それぞれ役割のある奏法を学ぶ。
【後期】 32～35回目	【アンサンブル1】コンガ、ボンゴ、ジャンベを使い、それぞれ役割のあるリズムパターンを演奏しセッションを楽しむ。【アンサンブル2】カホン、パンディロを使い、それぞれ役割のあるリズムパターンでセッションを楽しむ。【後期テスト】
【後期】 36～37回目	アンサンブル3]それぞれチョイスした楽器を使ってリズムアンサンブルを考え演奏してみる。 【後期まとめ】各楽器の奏法を復習し、小物パーカッションも混ぜて演奏してみる。 ■後期試験: 楽器の演奏により「指定楽器の奏法 / 小物を使った演奏 / アンサンブル能力」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「指定楽器の奏法 / 小物を使った演奏 / アンサンブル能力」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	パーカッションと一つに言っても、数え切れないほど世界にはたくさん存在します。少しでもその楽器に触れたり演奏してみたりすると、ギターベースドラムといったバンドサウンドの中にパーカッション要素を取り入れられたり、パーカッションだけで演奏できたりと、アンサンブルや楽曲アレンジ面でも可能性がぐんと広がります。たくさん触れて体験し、そして体感してみましよう。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	歌ってみた		授業形態 / 必選	実習	必修
	学則別表上表記	分野別実習Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ■声優芸能科 ■音楽芸能スタッフ科				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □
担当講師 実務経歴	Rickie-G のバックコーラスをつとめる他、シンガーとしてライブサポート、レコーディング、社歌やサウンドロゴ等の歌入れも行う。 ミッキー吉野(ゴダイゴ)、中西圭三、HY、島袋優(BEGIN)など大物アーティストとの共演も多数。				
授業概要					
ライトな歌唱実習です。動画や音源を記録に残し、客観的な目線で確認します。					
到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・歌うことの楽しさをまずは知り、動画や音源に残すことで自身を客観的に捉える能力を養う。 ・楽曲への理解を深め、歌唱を通して表現とは何かを考察し、自身を見つめ直す機会を設けることの大切さを知る。 					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	課題曲1(まずは歌ってみる、歌うことに慣れてみる)
【前期】 5～8回目	課題曲1(楽曲への理解を深め、表現につなげてみる)
【前期】 9～12回目	課題曲2(自由に表現してみる)
【前期】 13～16回目	課題曲2(聴き手に伝わる表現を追求してみる)
【前期】 17～19回目	課題曲の録画または録音を通して自身のパフォーマンスを客観的に捉えてみる ■前期試験:課題曲の歌唱により「歌唱時の音色(声色)の使い方 / 歌詞への理解度 / 総合表現力」の到達度を確認する。
【後期】 20～23回目	課題曲1(まずは歌ってみる、歌うことに慣れてみる)
【後期】 24～27回目	課題曲1(楽曲への理解を深め、表現につなげてみる)
【後期】 28～31回目	課題曲2(自由に表現してみる)
【後期】 32～35回目	課題曲2(聴き手に伝わる表現を追求してみる)
【後期】 36～37回目	課題曲の録画または録音を通して自身のパフォーマンスを客観的に捉えてみる ■後期試験:課題曲の歌唱により「歌唱時の音色(声色)の使い方 / 歌詞への理解度 / 総合表現力」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「歌唱時の音色(声色)の使い方 / 歌詞への理解度 / 総合表現力」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	歌うことに慣れていなくても、まずは少しずつ表現することの楽しさを知り、イメージ通り自由にパフォーマンスできるような自分になっていく様子を録画、録音を通して自身を見つめてみましょう。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	エレキベース		授業形態 / 必選	実習	必修
	学則別表上表記	分野別実習Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ■声優芸能科 ■音楽芸能スタッフ科				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □
担当講師 実務経歴	自身のオリジナルバンド『Raspberry Dream』(ラズベリー・ドリーム)では作詞作曲も担当し、4枚のアルバムを全国リリース。鹿児島繋がるキャンペーン、トヨタカローラ福岡等のCM楽曲制作も行う。上記の経歴を活かし、職業として求められる「演奏技術・音楽知識等」の指導を行う				
授業概要					
エレキベースを演奏するための基礎や応用を学びます。					
到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・無駄のないピッキング、フィンガリングのフォームを身につける。 ・理論やベースにおいての知識を身につける。 ・ベースラインを作成し実際にプレイする。 					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	2フィンガーの基礎。クロマチックスケールを使った運指トレーニング。
【前期】 5～8回目	メジャースケールを使ってフレット上の音名を覚える。 5度、オクターブ、トライアドのポジションを覚える。
【前期】 9～12回目	ダイアトニックスケールの理解、ポジション確認をする。
【前期】 13～16回目	ダイアトニックスケールを用いてコード進行にベースラインをつけてみる。
【前期】 17～19回目	前期まとめ。 ■前期試験: 課題曲の演奏により「ピッキング/フィンガリング/リズム」の到達度を確認する。
【後期】 20～23回目	2フィンガーの基礎。クロマチックスケールを使った運指トレーニング。
【後期】 24～27回目	メジャースケールを使ってフレット上の音名を覚える。 5度、オクターブ、トライアドのポジションを覚える。
【後期】 28～31回目	ダイアトニックスケールの理解、ポジション確認をする。
【後期】 32～35回目	ダイアトニックスケールを用いてコード進行にベースラインをつけてみる。
【後期】 36～37回目	後期まとめ。 ■後期試験: 課題曲の演奏により「ピッキング/フィンガリング/リズム」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「ピッキング/フィンガリング/リズム」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	ベースの基礎から始め、ベーシストとして生きる力をつけていきます。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	アコースティックギター		授業形態 / 必選	実習	必修
	学則別表上表記	分野別実習Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ■声優芸能科 ■音楽芸能スタッフ科				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ■ 非該当 □				
担当講師 実務経歴	自身のバンド「パノラマメロウ」で精力的な活動後、近年はメジャーアーティストのレコーディング参加やアイドルグループ楽曲へギターで参加している。これまでゴダイゴ 浅野孝己氏、直訳ロッカー 王様氏、ALLI氏などとも共演。				
授業概要					
アコースティックギターで伴奏などが出来る程度に、コードをストロークなどで弾いてみる。またその他奏法を用いた曲も弾いてみる。					
到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・アコースティックギターの演奏に必要な技術を身につける。 ・コードやリズムなどの音楽的知識やセンスを身につける。 ・コード譜を見れば曲が演奏出来るようにする。 					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	基本的な楽器の持ち方・ピックの持ち方・右手のストロークに挑戦。
【前期】 5～8回目	8ビートと16ビートのストロークをしてみる。ストロークに合わせて2コード弾いてみる。4コードの曲に挑戦。
【前期】 9～12回目	コードの覚え方。三和音のオープンコードとバレーコードを覚える。 三和音のオープンコードやバレーコードが出てくる曲を弾いてみる。
【前期】 13～16回目	よく使われる四和音のコードを4つ覚えてみる。四和音のコードを使った曲を弾いてみる。
【前期】 17～19回目	ミュートなどを使ったストロークに挑戦。アコースティックギターのストローク以外の奏法に挑戦。 ■前期試験:課題曲の演奏により「コード知識 / 演奏技術」の到達度を確認する。
【後期】 20～23回目	基本的な楽器の持ち方・ピックの持ち方・右手のストロークに挑戦。
【後期】 24～27回目	8ビートと16ビートのストロークをしてみる。ストロークに合わせて2コード弾いてみる。4コードの曲に挑戦。
【後期】 28～31回目	コードの覚え方。三和音のオープンコードとバレーコードを覚える。 三和音のオープンコードやバレーコードが出てくる曲を弾いてみる。
【後期】 32～35回目	よく使われる四和音のコードを4つ覚えてみる。四和音のコードを使った曲を弾いてみる。
【後期】 36～37回目	ミュートなどを使ったストロークに挑戦。アコースティックギターのストローク以外の奏法に挑戦。 ■後期試験:課題曲の演奏により「コード知識 / 演奏技術」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「コード知識 / 演奏技術」の2項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	アコースティックギターという楽器を理解して、演奏していくことは音楽をやる楽しさを理解することと同意味だと思います。弾けない時は挫折感を味わったりするでしょうが、これから関わっていくことになる音楽業界での仕事にはそういった挫折感はずきものです。アコースティックギターを通して、その挫折に負けず楽しんで壁を乗り越える忍耐力も身につけていきましょう。また音楽自体を理解する為に音楽的知識も身につけていきましょう。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	エレキギター		授業形態 / 必選	実習	必修
	学則別表上表記	分野別実習Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ■声優芸能科 ■音楽芸能スタッフ科				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	テレビCM「ビブレ」音源制作 ・LA☆CAPE「暗黙の了解」/作曲 また演奏においてはマイク・スターン、マーカス・ミラー、ポール・ジャクソンなど、世界で活躍するアーティストとも共演。 上記の経歴を活かし、職業として求められる「演奏技術、編曲の技術と知識等」の指導を行う。				
授業概要					
エレキギターの楽しさを学び、音楽の上でどのような役割を担っているかを理解する。					
到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・エレキギターの演奏知識やサウンドの特徴、バンドでの役割を理解する。 ・基本的な技術を習得するための練習法を習得する。 ・チューニングや初期セッティングを自分一人でおこなえるようになる。 ・パワーコードやオープンコード、メジャースケールなどを理解し初歩的な演奏ができるようになる。 					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	エレキギターの基本構造の理解、基礎知識と基礎奏法の習得、演奏フォームの構築
【前期】 5～8回目	課題曲①を用い、関連する知識や技術を習得する(パワーコードとペンタトニックスケールによるシンプルな内容)
【前期】 9～12回目	コード&スケールの基礎、リズムの基礎、機材の仕組みを学ぶ
【前期】 13～16回目	課題曲②を用い、関連する知識や技術を習得する(簡単なギターソロ、リードプレイにチャレンジする)
【前期】 17～19回目	総合復習 ■前期試験: 課題曲の演奏により「技術力 / リズムキープ / 1曲通しての演奏」の到達度を確認する。
【後期】 20～23回目	エレキギターの基本構造の理解、基礎知識と基礎奏法の習得、演奏フォームの構築
【後期】 24～27回目	課題曲①を用い、関連する知識や技術を習得する(パワーコードとペンタトニックスケールによるシンプルな内容)
【後期】 28～31回目	コード&スケールの基礎、リズムの基礎、機材の仕組みを学ぶ
【後期】 32～35回目	課題曲②を用い、関連する知識や技術を習得する(簡単なギターソロ、リードプレイにチャレンジする)
【後期】 36～37回目	総合復習 ■後期試験: 課題曲の演奏により「技術力 / リズムキープ / 1曲通しての演奏」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「技術力 / リズムキープ / 1曲通しての演奏」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	可能な限りギターを触る時間を増やし、楽しみながらギターの魅力を探りましょう。現代ポピュラーミュージックにおいて非常に重要かつ多彩な役割を担っており、また小さな枠にとられない無限大の可能性を秘めた楽器だということがわかるはずです。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	ソングライティング		授業形態 / 必選	実習	必修
	学則別表上表記	分野別実習Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ■声優芸能科 ■音楽芸能スタッフ科				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	伊藤広規(山下達郎バンド)、小倉博和(kokua)、波多江健、伊東ミキオ、池田聡、土岐麻子、竹原ピストルなどと共演。スガシカオ「Hitori Sugar Tour 2014」佐賀公演のO.Aにも選出。トヨタカローラ佐賀、ダイハツ長崎、ヒロホームなどのCMソング作成も数多く行う。上記の経歴を活かし、職業として求められる職業として求められる「ダンスの知識、表現力等」の指導を行う。				
授業概要					
理論と楽曲分析を学び、オリジナル曲を制作する。					
到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・ダイアトニックコードを理解する。 ・ギターもしくはピアノを使ってコードとメロディーを制作できるようになる。 ・自分の好きな曲を狙って作れるように、様々な曲の分析をしていく中で自然に沢山のジャンルの曲を知ることができる。 					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	・音階の仕組み・コード理論・ダイアトニックコードの説明
【前期】 5～8回目	・耳コピー・和音記号の使い方と考え方・歌詞の分析①
【前期】 9～12回目	・楽曲分析・コードの勉強をし、Aメロ作りやサビだけを作ってみる
【前期】 13～16回目	・1曲の流れ、キャッチコピーなどを狙って曲作り・歌詞の分析②
【前期】 17～19回目	・ノンダイアトニックコードの使い方、使いどころの習得 ■前期試験:楽曲の制作により「クオリティ / 表現力」の到達度を確認する。
【後期】 20～23回目	・音階の仕組み・コード理論・ダイアトニックコードの説明
【後期】 24～27回目	・耳コピー・和音記号の使い方と考え方・歌詞の分析①
【後期】 28～31回目	・楽曲分析・コードの勉強をし、Aメロ作りやサビだけを作ってみる
【後期】 32～35回目	・1曲の流れ、キャッチコピーなどを狙って曲作り・歌詞の分析②
【後期】 36～37回目	・ノンダイアトニックコードの使い方、使いどころの習得 ■後期試験:楽曲の制作により「クオリティ / 表現力」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。学期末に実施する試験により「クオリティ / 表現力」の2項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	作曲は音楽を表現するためにも、とても必要なことだと思います。どんなものでもどうやって作られているか知ることでこれまでとは違った見方になると思います。自分の表現方法の一つとして幅、奥行きにしてほしいです。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	DJ		授業形態 / 必選	実習	必修
	学則別表上表記	分野別実習Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ■声優芸能科 ■音楽芸能スタッフ科				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目		該当 <input type="checkbox"/>	非該当 <input checked="" type="checkbox"/>	
担当講師 実務経歴					
授業概要					
DJの基礎であるミックステクニックや基礎的なスクラッチ操作を習得します。					
到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・DJについて理解する。 ・DJ機材の操作を理解する。 ・どんな曲でもミックス出来る。 ・リズムをキープしたスクラッチが出来る。 					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	DJの歴史や、機材の歴史について学びDJという職業についての理解を深める。
【前期】 5～8回目	DJ機材の各名称を覚え、基本操作の習得を行う。
【前期】 9～12回目	House Hip Hop EDM 等のジャンルを選択しDJミックスを習得。
【前期】 13～16回目	スクラッチ音源を用いてスクラッチ操作の習得。
【前期】 17～19回目	15分程度のDJ MIXの作成を行う。 ■前期試験:DJ操作の実習により「機材操作/ DJ MIXのクオリティ / スクラッチ」の到達度を確認する。
【後期】 20～23回目	DJの歴史や、機材の歴史について学びDJという職業についての理解を深める。
【後期】 24～27回目	DJ機材の各名称を覚え、基本操作の習得を行う。
【後期】 28～31回目	House Hip Hop EDM 等のジャンルを選択しDJミックスを習得。
【後期】 32～35回目	スクラッチ音源を用いてスクラッチ操作の習得。
【後期】 36～37回目	15分程度のDJ MIXの作成を行う。 ■後期試験:DJ操作の実習により「機材操作/ DJ MIXのクオリティ / スクラッチ」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「機材操作/ DJ MIXのクオリティ / スクラッチ」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	近年劇的に人口の増えているDJですが、実際難しいのか簡単なのか何をやっているのかについて理解して、機材の操作をマスターしてください。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	韓国語		授業形態 / 必選	実習	必修
	学則別表上表記	分野別実習Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ■声優芸能科 ■音楽芸能スタッフ科				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ■ 非該当 □				
担当講師 実務経歴	韓国にて3年間の語学留学後、1995年より韓国語通訳・翻訳、韓国ガイド等を経て、現在専門学校を中心に韓国語講師を行う。 上記の経験を活かし「韓国語」の指導にあたる。				
<p>韓国語のみのテキストを使用し、日本人が理解しやすい説明を交え、韓国語の基礎知識を習得できるようにする。 また、会話を中心に「生きた韓国語」の習得を目指す。</p>					
<p>到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・韓国語の基礎、特にハングルの読み方と発音を正確に学習する。 ・韓国語は文字が読めないと学習できないため、しっかりと正確な読み方と発音を習得し、今後の韓国語学習につなげる。 ・また、韓国語会話の基本を学習し、簡単な会話ができるようになる。 					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	韓国語のしくみの理解(文字形成の理解、発音規則の理解) 韓国語会話テキスト 第1課「どこに行きますか？」 会話文・文型説明、会話練習
【前期】 5～8回目	韓国語会話テキスト 第1課 練習問題 韓国語会話テキスト 第2課「パンありますか？」 会話文・文型説明、会話練習
【前期】 9～12回目	韓国語会話テキスト 第2課 練習問題 韓国語会話テキスト 第3課「デパートでズボンと靴を買います」 会話文・文型説明、会話練習
【前期】 13～16回目	韓国語会話テキスト 第3課 練習問題 韓国語会話テキスト 第4課 復習Ⅰ 練習問題、会話練習
【前期】 17～19回目	韓国語会話テキスト 第4課 復習Ⅰ 練習問題、会話練習 ■前期試験:前期の授業範囲内で筆記試験を実施。前期授業の理解度を問う。
【後期】 20～23回目	韓国語のしくみの理解(文字形成の理解、発音規則の理解) 韓国語会話テキスト 第1課「どこに行きますか？」 会話文・文型説明、会話練習
【後期】 24～27回目	韓国語会話テキスト 第1課 練習問題 韓国語会話テキスト 第2課「パンありますか？」 会話文・文型説明、会話練習
【後期】 28～31回目	韓国語会話テキスト 第2課 練習問題 韓国語会話テキスト 第3課「デパートでズボンと靴を買います」 会話文・文型説明、会話練習
【後期】 32～35回目	韓国語会話テキスト 第3課 練習問題 韓国語会話テキスト 第4課 復習Ⅰ 練習問題、会話練習
【後期】 36～37回目	韓国語会話テキスト 第4課 復習Ⅰ 練習問題、会話練習 ■後期試験:後期の授業範囲内で筆記試験を実施。後期授業の理解度を問う。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点/意欲/技術力」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	韓国語は日本人が一番学習しやすい言語です！ 基礎をしっかり身につけて、会話ができるようになりましょう！ 選択授業終了後も自学できる力をつけましょう！
使用教科書	講師作成プリントを適時配布など。

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	アフレコ		授業形態 / 必選	実習	必修
	学則別表上表記	分野別実習Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ■声優芸能科 ■音楽スタッフ科				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目		該当 ■	非該当 □	
担当講師 実務経歴	TVアニメ「ポケットモンスターBW」、映画「ザ・パシフィック」など出演作品多数。演技のジャンルに囚われず、テレビドラマや舞台、ナレーターなど2009年より声優として幅広く活動。現在は、ナレーター、ボイストレーナーを中心に活動中。声優としてだけでなく、様々な現場経験を活かした講義内容となっている。				
授業概要					
アニメアフレコ台本等を、イメージを勝たせて読み取る レコーディングスタジオ等にてアフレコを行い。演技的アプローチ及びマイクワークなど技術的アプローチを同時に学習。 腹式発声・標準語アクセント・無声化・セリフの距離感など、発声活舌や演技手法の基礎を学習。					
到達目標					
台本読解について学習する。 ・レコーディングスタジオでの音声収録を通して、マイクの使い方、スタジオでの立ち振る舞い方を身につける。 ・アフレコ台本のつくりを理解し読み方を学習する。					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	台本読解:相手を感じ取る台本の読みとらえ方・誰に見せるのか・発声活舌 ・アフレコ①(アニメ1シーン)
【前期】 5～8回目	台本から読み取ったイメージをお芝居で表現する・アクセント アフレコ①(アニメ1シーン)レコーディングスタジオでの実習
【前期】 9～12回目	・お芝居における台詞の捉え方(台詞の距離感・対象・モノローグとは)・無声化 ・アテレコ(映画1シーン)
【前期】 13～16回目	お芝居における台編の捉え方(台詞の距離感・対象・モノローグとは)・鼻濁音 アフレコ③(アニメ1シーン)レコーディングスタジオでの実習
【前期】 17～19回目	■前期試験:実技・台本読解
【後期】 20～23回目	台本読解:相手を意識する、台本の読みとらえ方・誰に見せるのか・発声滑舌 ・アフレコ①(アニメ1シーン)
【後期】 24～27回目	台本から読み取ったイメージをお芝居で表現する・アクセント ・アフレコ①(アニメ1シーン)レコーディングスタジオでの実習
【後期】 28～31回目	・お芝居における台詞の捉え方(台詞の距離感・対象・モノローグとは)・無声化 ・アテレコ(映画1シーン)
【後期】 32～35回目	・お芝居における台詞の捉え方(セリフの距離感・対象・モノローグとは)・鼻濁音 ・アフレコ③(アニメ1シーン)レコーディングスタジオでの実習
【後期】 36～37回目	■後期試験:実技・台本読解
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点/適切な状況判断/濃技力/授業に取り組む姿勢/スタジオワーク」 の5項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	台本のチェックの仕方、マイクの入り方、収録方法など、アフレコの基本的なルールを学んでいきます、 お芝居ははじめは恥ずかしいものです、まずは演じることにチャレンジしてみましょう。
備考	・都度用意した原稿を使用。

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	英会話		授業形態 / 必選	実習	必修
	学則別表上表記	分野別実習Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ■声優芸能科 ■音楽芸能スタッフ科				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目		該当 <input type="checkbox"/>	非該当 <input checked="" type="checkbox"/>	
担当講師 実務経歴					
授業概要					
英語でコミュニケーションを取る時に必要な知識の習得を目指す。					
到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・英語の基本的な文法や単語などを習得する。 ・英文章を読み理解が出来るようになる。 ・英会話の基本を学習し、簡単な会話ができるようになる。 					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	前期:簡単な単語と基礎的な文法①
【前期】 5～8回目	前期:簡単な単語と基礎的な文法②
【前期】 9～12回目	前期:日常英会話①
【前期】 13～16回目	前期:日常英会話②
【前期】 17～19回目	前期:簡単な日常会話を実際にやってみる。 ■前期試験:簡易的な英会話のやり取りで、授業の理解度を確認する。
【後期】 20～23回目	後期:実際の日常会話の聴き取り①
【後期】 24～27回目	後期:実際の日常会話の聴き取り②
【後期】 28～31回目	後期:長文読解①
【後期】 32～34回目	後期:長文読解②
【後期】 35～37回目	後期:長文読解③ ■後期試験:本の一節を読んで英語でディスカッションしてみる。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 / 意欲 / 技術力」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	英語でコミュニケーションが取れる様になると、生活や音楽活動にも幅が出ます。 簡単な英会話から学び、英語での会話力を身に付けましょう。
使用教科書	